

新規事業採択時評価結果（平成31年度新規事業化箇所）

担当課：国道・技術課
担当課長名：東川 直正

事業の概要

事業名	一般国道245号久慈大橋	事業区分	一般国道	事業主体	茨城県
起終点	自：茨城県東海村豊岡 至：茨城県日立市留町	延長	1.0 km		
<p>事業概要</p> <p>一般国道245号は、茨城県北部の臨海地域における産業や観光振興に寄与するとともに、災害時には第1次緊急輸送道路としての役割を担う大変重要な路線である。</p> <p>当該区間は、茨城港日立港区と常陸那珂港を結ぶことにより、物流の効率化や渋滞緩和が期待されている道路である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>当該区間は、一級河川久慈川を渡河しており、交通が集中することから慢性的な渋滞が発生していることから、4車線整備により渋滞緩和が期待される。</p> <p>また、当該路線沿線の茨城港においては、完成自動車の輸出入が行われており、今後も多くの物流需要が見込まれていることから、物流ネットワークの強化を図るため、茨城港へのアクセス性の向上を図る道路として必要である。</p>					
全体事業費	約100億円	計画交通量	31,900台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

日立都市圏幹線道路整備促進期成会（日立市、東海村）より早期事業化を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見

事業採択の前提条件

費用耐便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.5	総費用：82億円 （事業費：81億円 維持管理費：1.1億円）	総便益：119億円 （走行時間短縮便益：107億円 走行費用減少便益：7.8億円 交通事故減少便益：3.9億円）	基準年 平成30年度	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.3	（交通量 -10%）	B/C=1.6	（交通量 +10%）
		事業費変動	B/C=1.3	（事業費 +10%）	B/C=1.6	（事業費 -10%）
		事業期間変動	B/C=1.3	（事業期間 +20%）	B/C=1.5	（事業期間 -20%）
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	4車線整備により混雑が緩和 主要渋滞箇所の渋滞緩和 国道6号の渋滞緩和		
		事故対策	○	・生活道路に流入していた交通が転換され、交通の安全や良好な生活環境が確保		
		歩行空間	—	・注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	○	・第二次救急医療施設「久慈茅根病院」「茨城東病院」へのアクセス向上		
		地域経済	◎	・茨城港へのアクセス向上		
		災害	◎	・第1次緊急輸送道路の機能強化 ・東海第2原発からの避難路		
		環境	—	・注目すべき影響はない		
	地域社会	○	・日立市～境町間の交流・連携の促進への寄与が期待される。			
	事業実施環境		茨城県総合計画への位置付け。 都市計画決定手続きが完了（日立市H26.4、東海村H16.8）。 日立都市圏幹線道路整備促進期成会（日立市、東海村）より早期事業化を要望されている。			

採択の理由

事業主体である茨城県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.5と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、茨城港へのアクセス向上、渋滞の緩和、緊急輸送道路の機能強化、観光振興への寄与など、当該事業の必要性、効果は高いものと判断される。

以上により、本事業は平成31年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。